



今回は、「**子供部屋とリビングの良い関係**」についてのお話です。

小学校の高学年以上になると自我が芽生え個室が欲しくなります。子供部屋はお子様の独立心を育む上で必要な反面、閉鎖的になり家族とのコミュニケーションが取れなくなってしまうと困ります。そこで今回は、家族が自然と集まるリビングやダイニングと子供部屋との良い関係について考えてみました。

子供部屋とリビングの良い関係

①リビングの近くに子供部屋が理想的

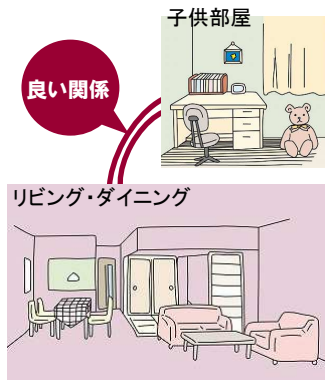
家族が集まるリビングやダイニングの近くに子供部屋があると子供の気配を感じ親の目が届くだけでなく、親子のコミュニケーションも取りやすくなります。

②リビングを歩いて子供部屋に入る間取り

玄関を入りリビングやダイニングを歩いて子供部屋に入ると必然的に家族との顔を合わせる機会が多くなります。

③リビングは居心地良くし、子供部屋は落ち着く空間に

リビングやダイニングは家族の共有スペースです。家族が自然と集まり居心地の良い空間にする事がコミュニケーションを良くすることにもつながります。一方、子供部屋は狭くても落ち着いて勉強ができる、緊張を解きほぐす健康的な空間でありたいものです。



【施工例】

部屋を間仕切り二つの子供部屋に(A様邸)



施工前

以前は二人共有のオープンな子供部屋



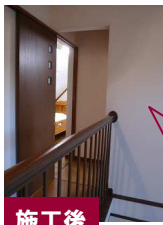
施工中

部屋の真ん中を壁で仕切ること



施工後

部屋は狭くなりましたが、それぞれのプライバシーが保てるようになりました。家相では東向きの部屋で机が北向きだと落ち着いて勉強ができるそうです。



施工後

二段ベッドはそれぞれの部屋に、狭い方が不思議と落ち着きます→

吹き抜けのリビングの上に続く子供部屋。コミュニケーションのとれるちょうど良い距離感です。



施工後

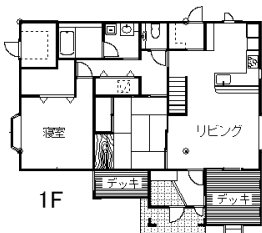
リビングに家族共有スペース(S様邸)



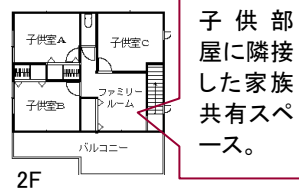
施工後

リビングの一角にパソコンコーナーや書庫を置いておくことで親子一緒に過ごす時間が増えます。

リビングを歩いて子供部屋に(S様邸)



1F



2F

子供部屋に隣接した家族共有スペース。

以前に新築させていただいたお客様。玄関を入りリビングを歩いて2階の子供部屋に行く間取りになっております。

お気軽にお問い合わせ下さい！

0120-312-341



エクステリア
住まいのお手伝い
事業部